

水稲の生産性向上と低コスト化による組合員の利益増進へ

【類型】 飼料用米 + WCS + 栗

【組織名】農事組合法人大野見野の風
(平成28年3月設立)

【所在】高知県中土佐町大野見

【構成戸数・人数】14戸

【経営規模(令和4年度実績)】

飼料用米 2.05ha
WCS 1.99ha
栗 0.73ha

作業受託

・育苗	2,180箱	・畔塗り	18.57ha	・田植	11.96ha
・収穫	22.57ha	・籾摺り	4,330袋		
・代掻き	4.44ha	・防除	84.97ha		



設立総会

設立の経緯

- 中土佐町大野見地区の長野集落、榎野々集落及び三ツ又集落は、第1期中山間地域等直接支払制度を機に農業や集落の将来について話し合うようになり、平成12～13年頃、各集落に長野営農組合、榎野々営農組合、三ツ又営農組合を設立。
- 平成27年度第4期中山間地域等直接支払制度において、集落協定を合併して広域化するための検討を始め、集積する農地の担い手として、既存の集落営農組織を合併して法人を設立することを決め、協議を重ね、平成28年3月に法人設立に至った。

取組の特徴・効果

- 法人設立後、集落住民の高齢化等もあり、年々水稲の作業受託面積が増加。効率的な受託作業スケジュールを実践。
- 法人の今後の方向に基づき新たな機械(田植機など)を整備。
- 地域にある畜産農家との耕畜連携により、WCS(ホールクロップサイレージ)の生産に取り組み専用品種‘たちすずか’の栽培の効率化、収量増加及び品質向上に取り組んでいる。

【具体的な取組内容】

(農) 大野見野の風活動範囲の概要			
水田	約22ha	集落戸数	約30戸
果樹(栗)	0.73ha	農家戸数	15戸
基盤整備率	約100%	組合参加戸数	14戸



役員会による意思決定



WCS収穫風景



WCS育苗に関する研修

【主な機械・施設】

機械・施設名	能力	導入事業	
		事業名等	実施年度
乾燥機(2台)	30石	集落営農支援事業	H29
コンバイン	60PS・4条刈	集落営農支援事業	H29
田植え機	21.3PS・6条植	集落営農支援事業	H30
播種機	340・420/箱/時	集落営農支援事業	H30
防除用マルチローター		地域営農支援事業	R2
田植え機	21.3PS・6条植	地域営農支援事業	R3

※その他の施設・機械は既存の2つの集落営農組織から無償借受

倉庫(3ヶ所)、コンバイン(3台)、乾燥機(8機)、穀物搬送機(2台)
 粃すり機(2台)、米選機、粗選機、ホッパー(2台)、ブリッジ、計量機
 フォークリフト(1台)、畔塗り機、トラクター

【課題・今後の取組】

- 法人としての事業戦略づくり
- 中山間地域等直接支払の協定地域で耕作放棄地を出さないようにする
- WCSの収量・品質の改善(育苗・施肥・栽培管理etc)